



杵築市の東小の6年生は、校区内の公園で清掃活動をしました。

杵築の東小児童 公園をきれいに

授業で自ら発案

【杵築】杵築市の東小(奥文二郎校長)の6年生(19人)が3日、校区内にある納屋公園(片野)で清掃活動をした。

総合的な学習の授業で東地区の発展を考えるうち、「自分たちができることを



ごみを拾う杵築市東小の児童＝杵築市片野の納屋公園

したい」と児童が発案した。子どもたちはごみ挟みを手で公園内を歩き、空き缶やビニールなどを回収。行き帰りの道でもごみを拾った。

阿部壘君(12)は「公園に傘も捨てられていてびっくりした。いつも遊んでいる公園なので、自分たちでキレイにできてよかった」と話していた。(佐藤由佳)

① 清掃活動のきっかけは？

総合的な学習の授業で東地区の発展を考えるうち、「自分たちができることをしたい」と児童が発案したことから。

② 6年生は公園で何を拾いましたか？

空き缶、ビニール、傘など。

③ 皆さんが住んでいる地区は、どんな地区ですか？

④ 地区をより良くするためには何をすればいいでしょうか。アイデアを出し合ってみましょう。